

2013年4月17日

調布の天神通り入り口付近にあるおもちゃ屋は七不思議の一つになりそうな店だ。昔からの町のおもちゃ屋らしく、沢山のおもちゃが店一杯に並んでいるが、客が入っているところをほとんど見たことがない。今年の正月3が日の3日の日に仕事で店の前を通りがかった時に、恐らく調布に来るようになってから10年近くなるが初めて子供づれの爺さんが店から出てくるのを見た。初めてである。毎日、休日も店は開いているが品揃えは変わったことはなく入り口付近にプラスチックのボーリングセット、店の奥にキューピー人形が置いてあり、替わったのを見たことがない。良く店を屋っけていけるなど思うほどだ。どこかの学校にでもまとめて卸しているのかもしれないが、普通では既にシャッターが下りた店になっているだろう。

調布にはまだ不思議な店がある、私の行きつけのコーヒー屋なのだが路地裏に入り口があるのだが、看板と言えは10X20cm程度の店名だけが書いてあるもの一つで、多分誰の目に留まることもないようなところ。でも何時行ってもかなり広い店内はオバチャンらしき客が一杯となっている。隠れ家的な場所なので私もよく言っているのだが、口コミで伝わらないと客は来られない店である。付近にあるコーヒー屋など客がまばらなのと比べると良く入っているものだと驚く。

調布にはまだ七不思議に入りそうな場所が沢山ありそう。観覧自由と書いてあるお寺の庭だが、いつも入り口が閉じていて入れないところとか。少し調布七不思議でも作ってみようかと思う。気がついた方は紹介して欲しい。

突然TPPの話になるが、阿部がアメリカでTPP参加に関してアメリカ側と約束してきたときの記者会見の内容と英語で表記された交渉時の文章との相違がかなりあることが最近伝えられている。当然記者会見は国民向けにいいことばかり、後で日本の要求が盛り込まれるようなことを行っているが、約即時の英文取り交わし内容は全く違っているようだ。もともと後から加わった国が、既に決められたことを覆して自分の思うように出来るはずはないと思うが、多分その通りで農産物の自由化阻止など出来るはずがない。日本はTPPで農産物に対する不利益ばかりを話題にしているが、TPPのもっと問題になるところはそんなことではなく、生命保険、貯金、サービス業、等をはじめとする、いわゆる非関税項目が同取り扱われることではないかと思う。要は他国の企業が、例えば保険会社が日本は皆保険精度があり、参入できないと騒げば、国際法廷で問題となれば、国内法律を変えてでもこの皆保険を無くさなければならなくなるかもしれない。こうした非関税障壁となっている事項を海外、主にアメリカの企業の言いなりになって精度変更を迫られることになると思われる。この方が農産物の自由化などよりもっと問題と思われるが、マスゴミをはじめ関係者は農産物ばかりを争点にして、最重要課題を何も言わない。農産物は確かに当初は大変だが、日本は多分こうした問題はクリアしてしまうと思っている。しかし問題はありながらも日本は皆保険精度があるため、アメリカのように貧者は病気になっても医師に掛かれないといった事態は起らない。救急車はたらいまわしが問題となっているが、ただで適当な病院まで運んで早期の治療が出来る。こうした仕組みが恐らくアメリカのようになってしまい、さらに格差が広がるのではないかと思われる。他の行政サービスについても大きく変更されることになるだろう。こうした問題をマスゴミは一切取り上げない。他の問題でもマスゴミの本来の機能が停止しまっている状態で、何とかならないものだろうか?こうした話題にならない問題がTPPでは重要な問題なので注意をしていく必要がある。今からではどうにもならないのかもしれないが、まんまとアメリカの罠にはまったのだろう。阿部ノミックスで浮かれている場合ではないだろう。これもやがてこんなはずではなかった、ということになりかねない状況と思うが……。世も末じゃ。